

# ユニオンケミカル株式会社

## 技術力に強みを持つ

## 複写・印刷関連用品の老舗

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メインジャンル
- 試作可  
小ロット
- 量産対応



主力製品のサーマルリボン

### 主な事業内容

複写関連用品、プリンターサプライ品、事務関連用品の製造・販売

### 主な取引先(納入先)

プリンターメーカー、文具メーカーなど

### 主な製品

カーボン紙、サーマルリボン、修正テープなど

### 業務内容 サーマルリボンの製造・販売が主力事業

ユニオンケミカルは、カーボン紙などの複写関連用品、サーマルリボンやインクジェットインクなどのプリンターサプライ品、修正テープなどの事務関連用品を設計・開発から製造・販売まで手がけている。主力はサーマルリボンで、売上高全体の6割ほどを占める。創業は明治38年と古く、株式会社化してからだけでも100年を超える歴史を持つ老舗である。創業者が汚れにくいカーボン紙を開発したのが同社の始まりで、我が国におけるカーボン紙生産のバイオニアとも言える企業だ。OA（オフィス・オートメーション）化、デジタル化の進展に伴い、取扱品目をプリンターサプライ品や事務関連用品へと拡大していった。

### 強み 海外拠点通じ、世界中に販売網広げる

また得意先のプリンターメーカーの英国進出に伴い、平成元年には英国に事業所を開設。これをきっかけに米国、中国などの主要国に相次ぎ販売拠点を設立し、世界中に販売網を広げている。現在、グループ全体の売上高の約半分

が、海外での売上だ。

ブレンド技術、コーティング技術、スリット技術も同社の特徴である。技術力の強さも同社の特徴である。ブレンドとは、色剤や溶媒などを組み合わせて顧客の満足する色を出す技術。コーティングとは、フィルムなどの表面にインクを薄く均一に塗る技術。そして、スリット技術とは、インクを塗った製品をミリ単位の幅で切る技術だ。

### 新展開 可食性インクジェットインクを展開

扱っている商品はほとんどが消耗品なので、「ハードが売れなければ、当社のビジネスは伸びない」と、木村栄一社長は弱点を話す。この悩みを解消するため、同社は「WOCES」というブランド名で、自らプリンターシステムを販売する事業も始めている。また今後伸びそうな製品が、食べられるインクジェットインク（可食性インク）である。ブレンド技術を応用して独自開発したもので、食品・医薬品の各種規格に則った原材料だけを使う。お菓子や錠剤の表面にイラストなどが印刷でき、同社はその印刷の企画・開発設計から、実際に印刷した製品の販売まで携わることが可能だ。

### 社長あいさつ



代表取締役社長 木村 栄一さん

紙の印刷物に関連する事業を主体としていますが、紙の需要はまだまだまだ続くと思っています。お客様のニーズをいかにキャッチするかが大切で、大手にはできない仕事はまだあります。「ひらめき」を技術で「もの」に仕上げる。この基本を大切に、これからも進化し続けます。

### 主な保有設備

- アトライター
- 塗工機
- スリッター
- 排ガス燃焼装置
- インク自動充填機



住所 / 〒573-1132  
枚方市  
招提田近3-10  
TEL / 072-856-3321  
FAX / 072-856-3378  
創業 / 明治38年2月  
設立 / 大正9年2月  
資本金 / 9,000万円  
従業員 / 117名



<https://www.union-c.com/>



ガラスにも印刷が可能



可食性インクでお菓子に印刷